## 大岩もとみさんの投稿が中日新聞に掲載

平成31年4月30日、平成最後の中日新聞の『発言』に、大岩もとみさんの投稿が掲載されましたので紹介します。

もとみさんは大正12年生まれで現在96歳。大正、昭和、平成の時代を生きてこられました。今回、新たに令和という時代を迎えるにあたり、平和への思いをしたためた投稿が、編集者の目に留まったようです。



次兄はサツマイモやジャガ いずれも戦後に復員しまし 明日、新時代の令和が幕を 無事で帰国できるとは思っ イモで飢えをしのいだと聞 に九十六歳になりました。 ハウルにそれぞれ出征し、 南方のパラオ、次兄はラ 私は大正の生まれで昭 太平洋戦争のとき、長兄 平成と生きて二十八日 長兄は爆弾で負傷し、 和を分かち合えたら 平和な眺めを、若くして亡 くなった母や男手一つで私 たちを育ててくれた父、助 出られなかった」との言葉 られるタンポポが咲き誇る たらと思わずにはいられま らと分かち合うことができ らしています。 部屋から見 紙数十枚で家のベッドを埋 は「ラバウル」と墨書した 次兄は長命でしたが、 なくして亡くなりました。 を残して逝きました。 私は入所する特別養

## 今回の投稿について、もとみさんにインタビューしました!!!

Q:中日新聞への投稿のきっかけは何ですか?

A:せっかく新聞をとって読むようになったで、書いてみたら、こんな大事になってぴっくりしたけど、嬉しかった。

Q:今後も新聞への投稿は続けられますか?

A:これからも機会があれば書いてみたいけど、調子に乗るといかんでほちぼちやりたいわ。

Q:楽しみなことは何ですか?

A:デイサービスへ通っていた時から良くしてもらっている職員さんや家族が面会に来てくれること。

Q:最近嬉しかったことはありますか?

A: もちろん、新聞に自分の投稿が掲載されたこと。他には可愛いひ孫の顔をみることが出来たこと。 母の日に子どもからプレゼントをもらったことなど、色々あって、私は本当に幸せ。

Q:毎日の日課は何ですか?

A:新聞を読んだり、日記を書いたり、脳トレプリントを解くこと。ポケ防止のつもりで頑張って続けたい。

Q:今後の目標について教えてください?

A:妹の信子に会いたい。会うまでは頑張って生きとらないかんと思っとる。子どもや孫、ひ孫に会うことも楽しみやし、早く迎えが来んかなと言うと、みんなに叱られるで、もうちょっと生きてみようかな。



ちはあっ ンシャ られました。子供のころから新聞が 後の作品も楽しみにしてい とを励みにされていま を読んで独学で学ばれたそうです。 きで読み書きも好きだった、 くて」と入賞を知ったときの喜び 「忘れやすくなったけど作り して施設のおたよりに掲載されるこ た!賞がもらえるなん る」と力強く話されました。 インに入所してから俳句を 、ます。 俳句は. . て 思 た 趣 を わ 今 サ 持 本

## 紅をひく白寿の母の初

## 俳句が第2位に入賞といって